

下原洞穴遺跡

SHITABARU DOKETSU ISEKI

シンポジウム

2026. **3.1** SUN

時間 14:00～16:50 **入場無料**

場所 天城町防災センター ホール



**特別展示
同時開催**

下原洞穴遺跡の
出土品を
展示します！

■ 報告

「下原洞穴遺跡の価値とは」
具志堅 亮 (天城町教育委員会 学芸員)

■ 発表

「下原洞穴遺跡はどのようにできたか」
石原 与四郎 氏 (福岡大学 理学部 助教)

「不思議な土器はどのように誕生したのか」
堂込 秀人 氏 (鹿児島県立埋蔵文化財センター)

「コウモリイヤー遺跡と下原洞穴遺跡」
佐野 勝宏 氏 (東北大学東北アジア研究センター 教授)

「徳之島への最初期人類拡散とその由来」
森先 一貴 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科 准教授)

■ パネルディスカッション

コーディネーター

芝 康次郎 氏
(独立行政法人 国立文化財機構
奈良文化財研究所 主任研究員)

パネリスト

堂込 秀人 氏 佐野 勝宏 氏 森先 一貴 氏
石原 与四郎 氏 具志堅 亮

主 催 天城町・天城町教育委員会

お問合せ 天城町教育委員会 社会教育課 文化財係
〒891-7692 鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1
TEL: 0997-85-4729
E-mail: syakyo06@yui-amagi.com

2026 SYMPOSIUM

下原洞穴遺跡シンポジウム

SHITABARU DOKETSUISEKI SYMPOSIUM 2026

したばら どうけつ

下原洞穴遺跡とは？

今から約4万年前、旧石器時代に海を越えて日本列島にやってきた人類は、3万年前までに奄美諸島に到達しました。しかし、その足跡は断片的で、いかにして奄美諸島の島々に適応したのか、その様子はほとんど明らかになっていませんでした。

崖面に大きな口を広げた下原洞穴遺跡には、2mを越える地層が堆積しており、その中には3万年前から続く人々の痕跡が積み重なっていました。これを調べると、この島の旧石器時代から縄文時代に移り変わる時期の暮らしぶりが見えてきました。

この時代は、今よりも気温が低く、気候が激しく変動する環境でした。このような気候のなかで、島の資源を巧みに利用しながら、枯渇させることなく持続可能な営みを続けた人々の姿が明らかとなってきました。

今回のシンポジウムでは、下原洞穴遺跡の最新の調査成果を紹介するとともに、下原洞穴遺跡が持つ意味について地域の皆さんと一緒に考える機会にしたいと思います。



「波状条線文土器」
下原洞穴遺跡から出土

シンポジウム「下原洞穴遺跡」 入場無料

2026年3月1日(日) 時間 14:00～16:50 / 場所 天城町防災センター ホール

主催 天城町・天城町教育委員会

プログラム

- 14:00 開会の挨拶 天城町長 森田 弘光
- 14:05 報告 「下原洞穴遺跡の価値とは」
具志堅 亮 天城町教育委員会 学芸員
- 14:20 発表 「下原洞穴遺跡はどのようにできたか」
石原 与四郎 氏
- 14:40 「不思議な土器はどのように誕生したのか」
堂込 秀人 氏
- 15:00 休憩 (10分間)
- 15:10 発表 「コウモリヨー遺跡と下原洞穴遺跡」
佐野 勝宏 氏
- 15:30 「徳之島への最初期人類拡散とその由来」
森先 一貴 氏
- 15:50 休憩 (10分間)

発表者



石原 与四郎 氏
福岡大学 理学部 助教



堂込 秀人 氏
鹿児島県立
埋蔵文化財センター



佐野 勝宏 氏
東北大学
東北アジア研究センター
教授



森先 一貴 氏
東京大学大学院
人文社会系研究科
准教授

16:00 パネルディスカッション

コーディネーター

芝 康次郎 氏
独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 主任研究員

パネリスト

堂込 秀人 氏 佐野 勝宏 氏 森先 一貴 氏
石原 与四郎 氏 具志堅 亮

16:45 閉会の挨拶 天城町教育委員会 教育長 院田 裕一



主 催 天城町・天城町教育委員会

お問合せ 天城町教育委員会 社会教育課 文化財係

〒891-7692 鹿児島県大島郡天城町平土野2691-1

TEL: 0997-85-4729 / E-mail: syakyo06@yui-amagi.com



天城町防災センター

図書館 ユイの館

Aコープ天城店

至 徳之島空港